

さしゅう

議会だより

No.124

2026.4.30



岡山県 里庄町議会



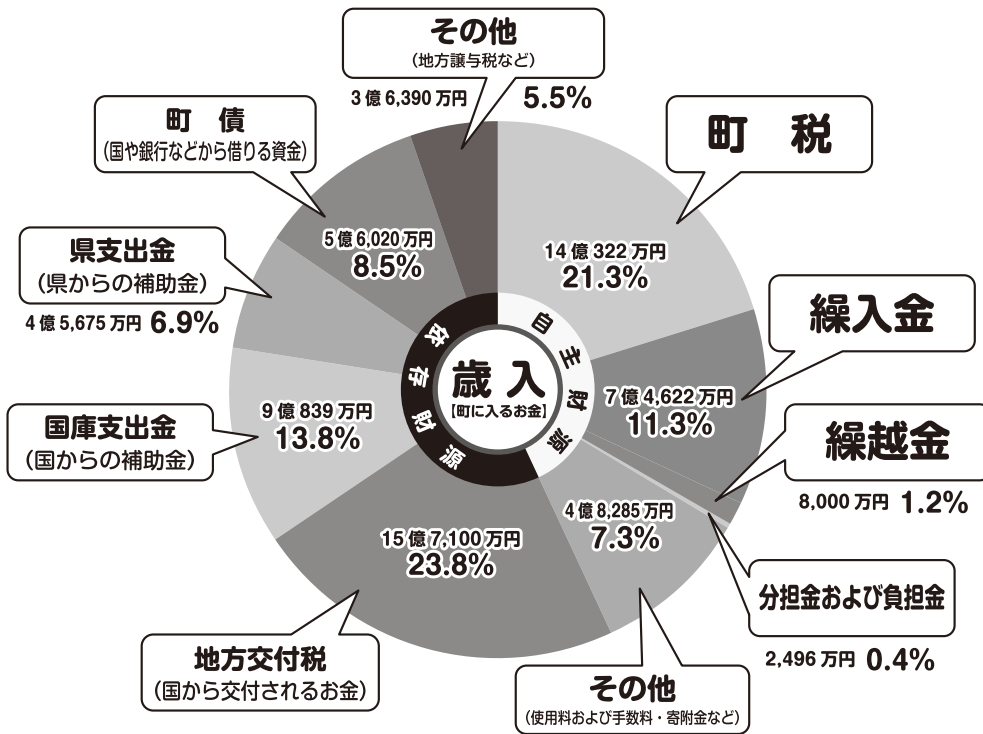
◀過去の議会だよりは
ここからご覧になれます。

3月

定例会

賛成多数で可決

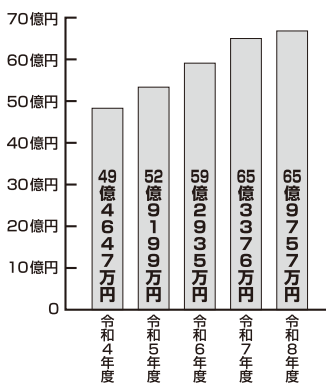
賛成8:反対1



令和8年第2回定例会は3月5日から19日までの会期で行われました。議案は条例の制定2件、条例の一部改正5件、令和7年度補正予算5件、令和8年度予算9件、人事案件2件など26件が上程されすべて原案通り可決・同意されました。また議員発議1件が可決、請願1件が採択されました。令和7年度補正予算及び令和8年度予算は、予算決算委員会に付託され審査を行いました。なお、一般質問には7人が登壇し、町の姿勢や考えを問いました。

令和8年度 里庄町の各会計予算

一般会計当初予算5年間推移



会計名	金額
一般会計	65億9757万円
国民健康保険特別会計	10億5237万円
介護老人保健施設特別会計	3806万円
介護保険特別会計	13億4328万円
後期高齢者医療特別会計	2億5663万円
育英奨学資金給与特別会計	148万円
町営墓地特別会計	658万円
水道事業会計	4億3392万円
公共下水道事業会計	8億2118万円

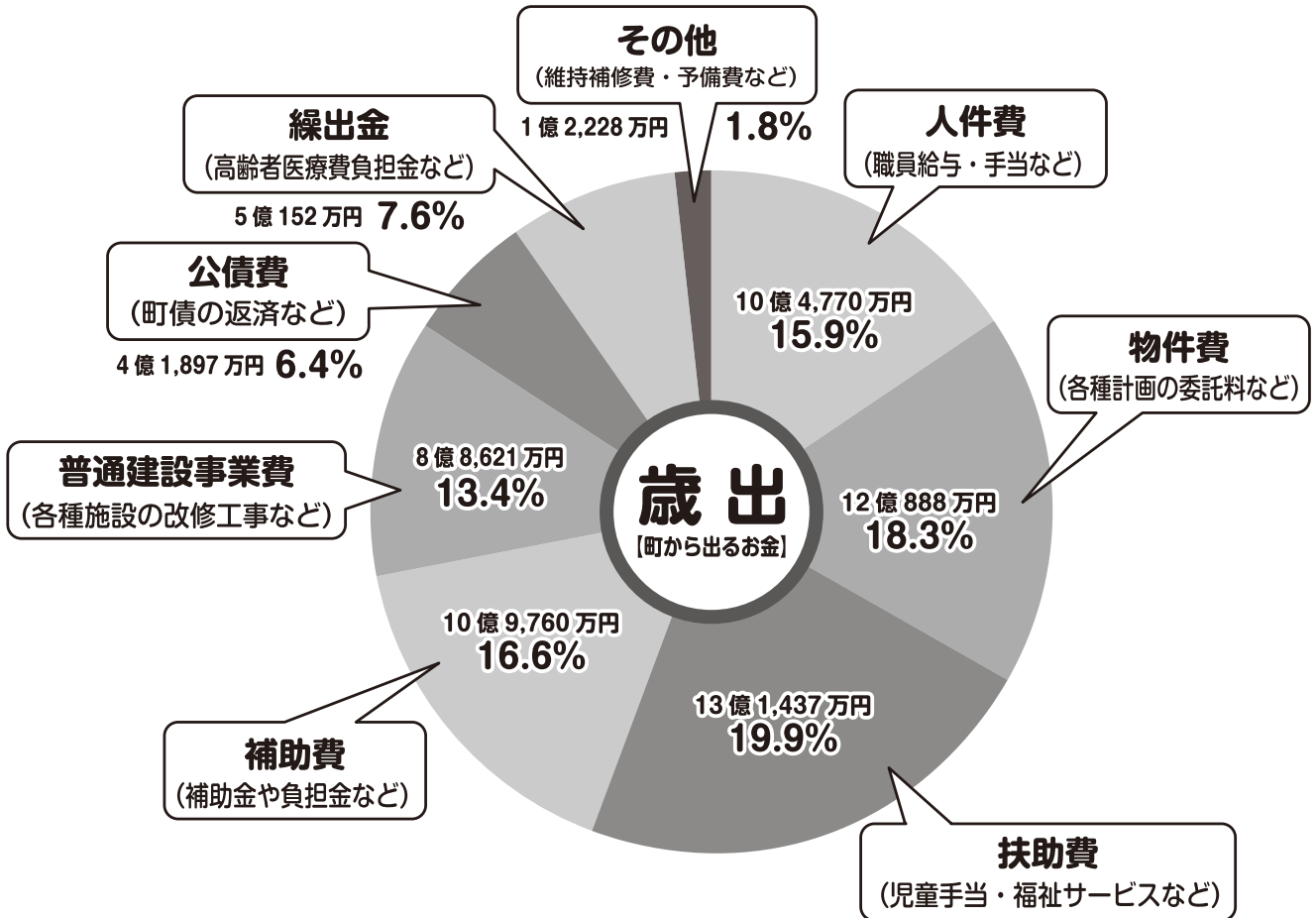
(記載金額の千円以下は切り捨てています)

令和8年度
一般会計

予算総額

65億9757万円

令和7年度一般会計補正予算2億4034万円は全会一致で可決



ここが反対!

上乗せ徴収は問題

佐藤耕三議員

子ども・子育て支援金制度は子どもや子育て世帯を社会全体で支えることが目的で、医療保険制度に上乗せ、徴収することは問題である。

恒久的な制度を充実させるためにも、大企業や富裕層への優遇税制の見直し、軍事費など見直す必要がある。

ここが反対!

JRに任せるべき

田辺博樹議員

里庄駅周辺施設概略設計準備検討業務委託料の299万円に反対。試算50億円と言われ、町の財政に影響がある出費は断じてすべきでない。JRに任せるべき。

費用対効果の面からみても、駅のプロジェクトは凍結してしかるべき。

令和8年度の 主 なる事業

このような事業を行います



地域暮らし応援券事業
1億1122万円

国の交付金を活用し、令和8年6月1日時点で住民基本台帳に登録されている町民を対象に、町内の本事業登録加盟店で利用できる「地域暮らし応援券」を発行します。応援券は、令和8年6月末までに対象者1人につき10000円分を郵送でお届けします。使用期間は、令和8年7月1日から12月31日となります。

小学校の給食費の無償化

5227万円

令和8年度は、国策により小学校の給食費を無償化します。国からの交付金の不足分1156万円を物価高騰の交付金を活用し、町が負担します。幼稚園・中学校は食料費の値上り分を町が補助します。



中学校体育館長寿命化

改修工事

4億7811万円

中学校の体育館の改修を行います。



新規農業者補助事業

農地の担い手不足や耕作放棄地を解消し、地域農業を将来にわたって維持していくために、補助事業を創設し町内で農業を担う人を支援します。申請や相談があった場合は、補正予算で対応する予定です。

主な事業

公共施設建替設計
業務委託料

7215万円

老朽化した中央公民館及び福祉会館の建て替え設計業務にかかる委託料などです。

学校パソコン購入費

8304万円

小・中学校の児童・生徒に貸出しているタブレット端末を全台更新します。



道路新設改良事業

1億400万円

狭い道路の拡幅や老朽化した道路の改修を行います。幅員4m未満の狭あい道路の整備や分館からの要望に基づく町道の改良も行います。

里庄駅周辺施設概略
設計準備検討業務委託料

299万円

里庄駅バリアフリー化に向けた駅周辺の概略設計にかかる委託料です。



ふるさと納税返礼
事務委託料

1億9640万円

ふるさと納税返礼品にかかる費用です。



水路等改修工事費

6300万円

井溝川・妙見川などの護岸整備を行うとともに、老朽化した水路の改修を行います。

子ども医療費補助

8200万円

18歳以下を対象に医療費を全額補助します。

障害福祉事業

3億8899万円

障がい者の福祉向上のために、医療費助成や就労支援などサービスの提供を行います。

浜中団地配水管布設替
工事

2900万円

令和11年度に予定している浜中団地中央公園内の給水塔撤去に向け、配水管布設替工事を行うとともに、耐震化を進めていきます。



この他にもいろいろな事業を行っていくよ!

質 疑

▼後で大きな負担
▼やっつけていけるのか
令和8年度当初予算に2人が質疑を行いました。

令和8年度予算総括

後で大きな負担

仁科英議員 福祉会館と中央公民館を統合した複合施設の建設、書庫棟を除く場合と除かない場合で、建設可能面積ほどの程度変わってくるのか。

総務課長 書庫棟はそのまま残す前提でこの計画を立てているので、試算はできていない状況。

仁科英議員 基本設計の中にはどういうものを入れるという事なのか。

総務課長 基本設計業務内容は、備えるべき機能

や性能、内外のデザインなどを図書としてまとめ、完成時の姿を明確にするもので、こちらを町としては指名競争入札で発注を考えている。

仁科英議員 下水道は今年度は手ノ際、金山、高岡地区の一部で1億3600万円の工事を行うことになっているが、今までの説明で毎年1億3000万円で工事をすれば、58年先の令和65年度完了ということだった。

今の経済情勢、いろいろなことを考えて、延びれば延びるだけ負担が膨らむので、整備計画区域を絞って、30年で終わりにしたらどうか。

上下水道課長 30年以内には完成するには現在の整備規模1億5000万円程度から最低でも2倍の3億円にする必要があり、町財政に与える影響は大きくなることが想定され、30年以内には完成するのは難しいと考えている。

町長 財源的なことは、今、公共施設建て替え、駅のバリアフリー化、それが大きなウエートを占めると考えている。下水道については着々と進んでいるので、金利の上昇

のこともあるが、取りあえず今までどおりのペースで進めていきたいと考えている。

町長 下水道の今後の在り方だが、区域の設定は職員がアンケートを取り需要の高いところから進めようとしている。実際には徐々に期間は短くなり、最終的には合併浄化槽といったことも視野に入れながら、そういった計画方針になっていくと思う。

仁科英議員 1億5000万円を3億円にした場合にも、この財源は国庫補助と起債が多い。今、お金がないというけれど、後で大きな負担になってくる。国の補助制度も、今後だんだん縮小していく可能性もある。

そういう中で早くやっただほうがいいのではないかと。

町長 財源的なことは、今、公共施設建て替え、駅のバリアフリー化、それが大きなウエートを占めると考えている。下水道については着々と進んでいるので、金利の上昇

のこともあるが、取りあえず今までどおりのペースで進めていきたいと考えている。

3月補正の結果

会計名	補正後の金額	(補正額)
一般会計(第7号)	76億6845万円	(2億4034万円)
国民保険特別会計	11億1798万円	(△20万円)
介護保険特別会計	13億6026万円	(2089万円)

人事

人権擁護委員の推薦

里庄町新庄グリーンクレスト

佐藤 芳明氏

副町長の選任

里庄町新庄

村山 達也氏

やっつけられるのか

仁科千議員 一般会計の

当初予算は過去最大で、65億9757万円、前年度比に比べると6380万円、1%の増となっている。要因として人事院勧告に伴う給料改定や定期昇給による人件費の増や、物件費・扶助費などの説明があつた。

その中で里庄町の職員定数は仕事が大変だということなどで101人に上げているが、今年度は97人。最大予算に対して、昨年よりも少ないが、これでやっていけるのか。

少なくとも理由と、この中には令和8年度の新入職員の数も入っているのか。

総務課長 令和5年度から定員を10人増やして定員101人となっている。

令和7年度中に育児休業に入った職員2人と、退職者1人の不補充で計

3人減となっている。

なお、実際の職員定数は101人だが、例えば新規の事業が起きるとか、そういう業務内容の変化や、また職員の年齢層、バランスを取らないといけない。

令和8年度4月採用も入って現状94人となっている。

仁科千議員

人数が減って行政サービスの停滞や質の低下にならないのか。

どういう考え方をしているのか、人員削減が意図的であるのか。

また、デジタル化の技術を活用するので減らしていく考えか、外部委託をもっと増やすので減らしていく考えか。

総務課長

実際、専門職

の土木技師であるとか建築技師は不足をしている。

人員の削減は、国の人口は減ってくるので、職員数を減らして、代わりにIT技術の活用というのはあるが、現時点でまだそこまでは踏み込んでいないのが現状。



チェック 令和8年度 予算質疑

ココを問う

4日間予算決算委員会で審査

3月12日・13日および16日・17日の4日間にわたり、関係当局の出席を求め説明を聴取しながら慎重に審査しました。
質疑の主な内容をお知らせします。



【上下水道課】

問 下水道整備より合併浄化槽への転換の優位性の検討を。

答 下水道整備率は約7割。未整備地域（土井・古井・林・津江地区など）はアンケートなどでニーズを把握しつつ、状況により方針転換も検討する。

問 県道関連工事や浜中団地の工事は、耐震化とどのような関連があるのか。

【答】県道関連工事

県の道路工事が行われる機会を捉え、同時に老朽化した水道管を新しい耐震管に入れ替える工事。道路を掘り返す工事を一度で終わることができ、ため、単独で実施するよりも効率的かつ安価に行える。

【答】浜中団地関連工事

令和11年に取り壊し予定の給水塔に関連し、その前段階として配水管の布設替えを行うもの。

【町民課】

問 「マイナンバーカードへの旧氏のふりがな」とは具体的に何を指すのか。

答 国の要請・補助に基づき、「旧氏・旧氏のふりがな」の取扱いを統一・整備する事業で、国外転出で住民票が抹消されても、同一人物の管理や履歴保持の必要性から、旧氏・旧氏のふりがな情報を扱えるようにする。

問 窓口での「発券機」導入により、来庁者が自分で用件を選ぶ方式で混乱が生じるのではないのか。選択できない場合の対応は。

答 入口パネルで「町民課」などの課を選択し、該当業務（最大4区分など）を表示する設計を想定。来庁者が選択できない場合や不明の場合は職員が対面で誘導・対応する。実運用の中で分類やフローを調整していく。

問 指定ごみ袋の発注数増で金額が上がっているが、採算はとれているのか。

今後、値上げの予定は。 **答** 物価・原材料・製造コスト上昇に伴い単価も上昇。概ね1枚あたりの単価は上がっているが、以前のような赤字になっていない。今のところ値上げの予定はない。

問 ごみ出しアプリを住民が知らないケースが多い。閲覧板などでの周知は行ったのか。

また、地区ごとに収集日の通知は設定できるか。 **答** 去年12月の広報紙配布でアプリ案内も回覧したが、知らない人が多い。4月の分館長会議で改めて周知を徹底する。地区設定は初期設定で選択可能で、居住地区を登録すれば該当通知が届く。

問 娘が嫁いで姓が変わっても、親の面倒を見るケースは多い。

このような実情を考慮し、例外的に町外在住の親のための墓地購入を認めるべきではないか。 **答** 現状では「一世帯に一区画」が原則であり、第三者への貸与なども認められていない。

しかし近年、家族の形態は多様化しており、町外にいる親の墓を町内の子が管理するというケースが増えているのは事実。この問題は重要な検討課題であり、今後協議していく。

【企画商工課】

問 同窓会補助金は必要なのか。

答 少子化対策として県が市町村と連携して実施しており、補助金があるため、町でも実施している。

問 まちづくり補助金の内訳はどうなっているのか。

【答】分館活動の運営補助として、均等割は各分館に一律60000円を、人口割は住民1人当たり200円×人数、分館活動費は各分館に一律50000円、組合活動費は1世帯当たり6000円を交付している。

花いっぱい運動の実施分館に一律10000円に加えて花苗代の実費補助、町民スポーツ交流大会への参加分館に6000円、町主催のスポーツ大会に参加した場合に1大会につき30000円、その他として分館独自事業を実施した回数に応じて補助金を交付している。

【健康福祉課】

【問】町のインフルエンサーは今後増やしていくのか。

【答】次年度以降、若干名の募集をしたいと考えている。

企業の情報も発信してもらえるようにしていく。

【問】産後ケア利用者は減っているのに補助金が増えているのはなぜか。

【答】補助単価が高い宿泊型と日帰り型の利用が増えている。

宿泊が18000円、日帰りが10000円。

【総務課】

【問】防災マップはどのようなものを作る予定か。

【答】令和8年度は内水氾濫の解析を行い、令和9年度に防災マップを作る予定。

【問】防災士を希望する人が多い場合はどうするのか。

【答】地域に偏りが無いように、防災士が少ない地区を優先する。

【まち整備課】

【問】里庄駅周辺整備に今までのいくらかかっているか。

【答】約2000万円である。

【農林建設課】

【問】グリーンクレスト高架下の法面について、法面下の道路は通学路にもなっており、早めに整備をしてほしい。

【答】本年度、工事方法を含めた設計を行い、来年度設計に基づいた工事を実施する予定である。時間を要することは理解してもらいたい。

【問】猪の狩猟期間に関係なく、年中同じ捕獲額にできないか。

【答】県の補助金は、今回初めて狩猟期間が補助されるようになった。今後、その要望があれば考える。

【教育委員会】

【問】中学校体育館改修工事と委託料があるが、どういう工事内容か。また、工事内容は。

【答】工事発注後、7月に足場を設置し内外工事を並行して進めていく。来年

3月末までには、完成予定。

なお、使えるものは使うが、屋根・床・内装はほぼ全て改修する予定である。

また、体育館内にトイレを新たに整備する。

【問】学校用タブレット購入費8304万円の内容は。

【答】一台55000円。児童・生徒用928台・予備機139台、先生用80台、合計1147台の更新を予定。

故障が多いため、今回は保守保証サービスを付ける。

【問】文化ホール音響設備一部改修工事内容は。

予算決算委員会
3月12日から17日の4日間にわたり、関係当局の出席を求め説明を聴取しながら慎重に審査しました。

防災マップの内水氾濫解析は令和8年度に行い、令和9年度にマップ修正する。公共建て替え業務は、設計・測量・ボーリング調査が含まれるとのことでした。

また、窓口での問題を解消するため窓口受付交付機を設置する説明がありました。

採決の結果、令和8年度一般会計予算、国民健康保険特別会計予算は賛成多数で可決、また他7件と令和7年度一般会計補正予算4件は全会一致で可決されました。

町条例

質疑

火入れとは

制定

里庄町特定乳幼児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

子ども子育て支援法等の一部を改正する法律の施行に伴い条例を制定します。

生後6か月から3歳未満で保育所などに通っていない子どもについては、月10時間まで全国の実施事業所などに通園させることができます。

例 里庄町火入れに関する条例

町長の許可を受けて、町内で火入れをする際の手続きの詳細と火入れをする人の義務などを定めたものです。

仁科千議員

火入れ条例制定が遅くなった理由は、

農林建設課参事 林業が盛んでなかったため、重要視していなかった。

大船渡市の林野火災のあと国の方で検討会が開かれ、火入れ許可に関する嚴重な通達があり、町では制定していないことが分かり制定した。

仁科千議員

火入れとはどのようなものか。

農林建設課参事

里庄町は町内全域が森林の1キロ以内で、原則的に無許可の火入れは出来ない。刈り払ったままの状態

で燃やすには10人以上の従事者、防火帯の設置、消火に必要な器具を従事者10人以上に携行させないといけない。その場合

は町への許可申請が必要。

仁科千議員

この件についての広報はどのようにするのか。

農林建設課参事 町の回覧などで周知する。

要件を満たせば

仁科英議員

条例を制定することで一定の要件を満たせば火入れは可能なのか。

農林建設課参事

町内で火入れをする場合は許可が必要になる。



一部改正
里庄町水道事業給水条例
の一部改正

水道の整備と併せ水道料金を改定します。
口座振替で納期限までに使用料を納入した場合の割引制度を廃止します。
下水道料金も同様に割引制度を廃止します。

なぜ廃止

仁科英議員 口座振替の方法により納付する場合の使用料の割引制度を削除し廃止する意味、今なぜ必要か。

上下水道課長 納期限までに使用料を納入した時110円の割引を行っていた。口座振替制度を開始して18年が経過し、口座振替の普及に効果があったと判断し、廃止する。

仁科英議員 収入は全体でいくらか増えるのか。
上下水道課長 年間で、270万円増える予定。

15%以上改定の考えは

仁科英議員 上下水道事業運営審議会で今後水道財政、諸般の状況を考えた場合、料金を15%以上改定することが、妥当であると答申があったが、執行部としての考えは。

上下水道課長 平成9年の改定以降値上げすることなく、水道料金を維持している。今後、工事費、人件費などの高騰、耐震化の費用増加は避けられない。人口減少による収入減少など、令和10年度には赤字経営となるので、水道料金を改定する。

また、水道料金が適正であるか、5年ごとに検証する。最低限度必要な残高2億円以上の確保に努める。

仁科英議員 基礎料金と口径別に分かれているが、どういう料金体系で、今後どうなるのか。

上下水道課長 13ミリと20ミリの口径については左図のとおり。

口径	m	改定前	改定後	差額	改定率
13ミリ	10	2585円	2860円	275円	10.6%
	30	5170円	5665円	495円	9.6%
	100	1749円	1914円	165円	9.4%
20ミリ	10	3025円	3960円	935円	30.9%
	40	7370円	8690円	1320円	17.9%
	100	17930円	20240円	2310円	12.9%

仁科英議員 総収入は、いくらかになるのか。

上下水道課長 給水収益は約2億円から2億3000万円。3000万円増える予定。



新入団員研修(里庄町消防団)

建設福祉委員会

【道路認定】

3月11日関係当局の出席のもと、現地の調査確認を行い、慎重に審査しました。

本路線は、金山団地北側に9区画造成された団地内にある位置指定道路です。

今後、町認定後1年以内に補修が必要になった場合は、町が補修するかという質疑に対し、業者が補修するという説明を受けました。

本路線は位置指定道路の規格で施工されています。

採決の結果、本案は全会一致で認定すべきものと決しました。



【令和7年12月請願】

継続審査となっていた「子育て支援の充実に関する請願」について、委員からは4月から公的医療保険料に上乘せされて徴収される、子ども・子育て支援金制度が発足するタイミングで、国の動向を注視しながら様子を見るべき。

また、休日保育は保護者は助かると思うが、子ども側から見るときはどうかという意見がありました。

採決の結果、採択すべきものが1、趣旨採択すべきものが1、不採択とすべきものが2となり、不採択と決しました。

請願

年金支給額の引き上げおよび最低支給額の設定を求める請願書

請願趣旨

生活必需品を含む物価高騰に対応できるよう年金支給額の引き上げおよび、最低限度の生活ができるよう年金の最低支給額を設定するよう国に求めてもらいたい。

総務文教委員会審査

3月11日、請願者から説明を受け審査しました。

物価の高騰に年金額が追いついていない実態や、年金支給額が低いことで生活が厳しい状況。

また、非正規での労働で将来受取る事が出来る年金に不安をかかえる人がいる。などの説明を受けました。

採決の結果、全会一致で採択すべきものと決しました。

生活できない支給額とは

眞野議員 現状の生活で

きない年金支給額とはいくらで、生活保護並みの支給額とはいくらなのか。年金をかけていない人は年金を納めずして年金を受給するということがあるのか。

総務文教委員長 約7万円。

生活保護も条件により金額は違うが、6〜7万円ということで議論した。年金を納めることができないう人の生活を守るためにということ。

眞野議員 最低支給額は

生活保護並みの6〜7万円とほぼ同じ金額でいいのか。

総務文教委員長 最低支給額は7万円弱をベース

に話し合った。扶助も条件や環境などにより違うが、それを差し引いても6万円から7万円しか残らないことから議論した。

仁科議員 国民年金に

加入されていない人がいるというが、国民皆保険ということは最低国民年金に入らなくてはいけないのではないのか。

国民年金は政府管掌でやっているのが最低年金法を定める意味が分からない。なぜ別に法律が必要で

誰にそれを求めるのか。

国民年金の額は誰が決めているのか。政府が最低金額を定めているので二重にする必要はないと思うがどうなのか。

総務文教委員長 受給額が少ないところが議論の基本。今回そのような議論はしていない。

二重にする必要はない

ここが反対！ 支える側の視点で

眞野博文議員

日本の年金制度は、賦課方式で生活保護費と年金は財源構造は違う。

年金を納めなくても年金支給額を受け取れるとすれば、真面目に年金を納めようとしている現役世代はどう思うか。

年金受給額をアップさせれば、現役世代の負担が大きくなる。支える側の視点で考えれば認めることはできない。

ここが賛成！ 今の年金は少ない

佐藤耕三議員

現役世代の負担になるというが、現役世代も当然年金支給年齢になる。現役世代と高齢化世代を分けるのではなく、将来のことを考えても今の年金は少ないのは当たり前。それを上げていくのは当たり前のこと。

発 議

年金支給額の引き上げおよび最低支給額の設定を求める意見書案

賛 成 6 : 3 反 対

一 発 議

里庄町役場複合庁舎特別委員会の設置

賛成 2 : 7 反対

里庄町役場複合庁舎の建設事業は、解体費と新規建設などで17億円から20億円にもなる非常に大きな近年類を見ない大きな事業。

令和8年から本格的な設計、その後実施設計、詳細設計、さらに既存施設の解体、新施設の建設工事と続き、全員協議会や委員会だけでなく閉会中の調査検討も当然必要。

議会としてもより丁寧にフォロー、調査、検討を行うためにも特別委員会を設置する必要がある。

ここが賛成！

逐一関与すべき

田辺博樹議員

里庄町役場の複合庁舎の建設について議員にはあまり情報が入ってこない。

このような大きなプロジェクトに途中で全く関与しないのでは町民の負託に応えられていない。その過程において逐一関与するべき。

視察・研修

一部事務組合行政視察

西部衛生施設組合議会（小野議員、眞野議員）

1月29日に大井川環境管理センター、30日に浜松市新清掃工場（天竜エコテラス）を視察しました。

・大井川環境管理センター

藤枝市と焼津市のし尿と浄化槽汚泥処理を行うことを目的に令和3年に完成した施設です。特徴としては、資源化設備を整備して処理工程でリンを回収して肥料成分として地域に還元していることです。

・浜松市新清掃工場 天竜エコテラス

燃えるゴミを処理する溶融セクターと燃えないゴミ、粗大ごみ等を処理する破砕セクターを併設した施設です。また、最初から長寿命化のために20年間の運営の契約とあわせ、30年間の使用を前提とした修繕計画の契約も行っていました。環境啓発施設としても見学者がわかりやすい演出や展示となっています。

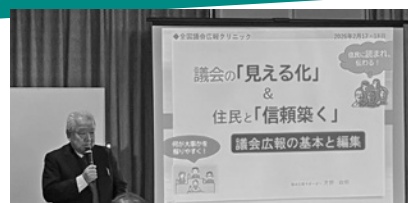
広報委員会

2月18日（水）広報クリニック研修

令和7年度町村議会広報クリニックに、議会広報委員5人が参加し、我が町の議会だよりの企画・編集などの審査講習を受講しました。

講師の芳野政明氏から、紙面のレイアウト方法や改善点などを分かりやすく丁寧に講評を頂き、次の議会だより作成の目標が委員全員で共有・確認ができたクリニックとなりました。

今回のクリニックで得られた学びを今後に生かされるよう、より一層気の引き締まる広報クリニックとなりました。



賛否表

○…賛成 ×…反対

議案名	議員名									議決結果	
		岡村咲津紀	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	田辺博樹	難波啓祐		岡本貴之
議案第3号	里庄町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	里庄町火入れに関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	里庄町職員の給与に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	里庄町職員等の旅費に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	里庄町介護保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	里庄町公共下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	里庄町水道事業給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	令和7年度里庄町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	令和7年度里庄町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	令和7年度里庄町介護老人保健施設特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	令和7年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	令和8年度里庄町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可決
議案第15号	令和8年度里庄町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
議案第16号	令和8年度里庄町介護老人保健施設特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第17号	令和8年度里庄町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第18号	令和8年度里庄町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	令和8年度里庄町育英奨学資金給与特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	令和8年度里庄町営墓地特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第21号	令和8年度里庄町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第22号	令和8年度里庄町公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第23号	里庄町道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第24号	モーターボート競走の施行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第25号	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案第26号	令和7年度里庄町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第27号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第28号	副町長の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
請願第1号	年金支給額の引き上げおよび最低支給額の設定を求める請願書	○	×	○	○	×	○	○	×	×	採択
請願第1号	子育て支援の充実に関する請願(令和7年12月上程)	○	×	×	×	×	×	×	○	○	不採択
発議第1号	年金支給額の引き上げおよび最低支給額の設定を求める意見書案	○	×	○	○	×	○	○	○	×	可決
発議第2号	里庄町役場複合庁舎建設特別委員会の設置	×	×	○	×	×	×	○	×	×	否決

注)議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

一般質問

町政を問う

7人の議員が登壇して質問!

岡本 貴之 議員……………17P

- ① 新町長のこれからの想いは
- ② 町のスポーツ施設の改修・改善は

仁科 英磨 議員……………18P

- ① 新町長の町政の最終責任者としての基本姿勢
- ② これからの2大プロジェクト、その他の主要事業への取り組み方の基本

佐藤 耕三 議員……………19P

- ① 町長の考える町づくりは
- ② 女子トイレへの生理用品の設置を
- ③ 女子生徒の制服

仁科 千鶴子 議員……………20P

- ① 5歳児健診の義務化
- ② 公共施設の利用と整備

難波 啓祐 議員……………21P

- ① 人口減少対策は
- ② 学校給食費の無償化
- ③ 稼げる町づくり

岡村 咲津紀 議員……………22P

- ① 第4次里庄町男女共同参画基本計画に基づく今後の取り組み

田辺 博樹 議員……………23P

- ① スマート・シュリンク政策(smart shrink politics)の考えは
- ② 仁科芳雄特別賞の創設を
- ③ 町長として議会への説明責任は
- ④ 企業誘致委員会を設置すべきでは

※一般質問の原稿は質問者が作成しています。

岡本 貴之 議員



新町長のこれからの思いを

町長／将来に責任ある町政を進めていきたい

問 これからの里庄町をどのようにしていきたいのか。

町長 今の時代、人口減少や少子・高齢化の進展、社会経済情勢の変化、頻発化、激甚化する自然災害など、自治体を取り巻く環境は大きく変化している。このような時代にあつてこそ、足元を固め、将来を見据えた堅実かつ着実な町政運営が求められている。

時代の変化に柔軟に対応し、町議会そして町民の理解、協力を賜りながら将来に責任ある町政を進めていきたいと考えている。

問 里庄町の課題点は、一体何だと思ふか。

思ふか。

町長 色々な課題はあるが、地域のつながりが希薄化していることを、何かの施策を打って、町民のつながりを

今まで以上につなげて、今までのように元気のいいまちづくりを継続できるように進めていきたい。

問 これからの任期で一番力を入れたい施策は。

駅周辺整備は重要な施策課題の一つだが、現在はまだ将来像を描く段階であり引き続き慎重な検討が必要である。

町長 その一方で、現時点において最も優先すべき施策は、教育、文化機能を中心とした福祉会館と中央公民館を集約する施設整備の着実な推進であると考えている。

いままちづくりを継続できるように進めていきたい。

問 テニスコートのくぼみ、傾斜などは認識しているのか。

建設から今年で43年が経過し、施設全体の老朽化は著しい状態となっていることは十分承知をしている。

参事 直す計画などはないのか。

改修には多額の費用が当然必要となることから今後、施設の在り方などについて計画、検討をしていく必要があると考えている。

参事 野球場やテニスコートに自動販売機の設置はできないのか。

公共施設に自動販売機を設置することは、利用者の利便性の向上にも当然つながると思うが、設置に伴う電力確保、設備投資、ごみ対応などの管理を講ずることが求められ、各施設への自動販売機の設置は現在考えていない。

参事 下段の1・2コートは時間を区切るなどして使用できないのか。

また、3・4コートに

テニスコート直す計画は

教委事務局参事／今後、施設について計画、検討が必要

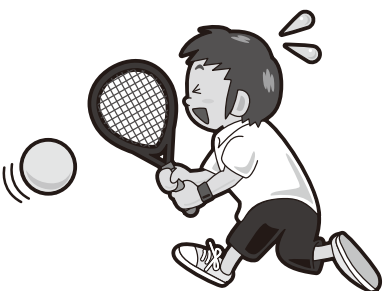
時間ルールや専用駐車場で騒音などのマナーを守らない一部の利用者により近隣の人から厳しい苦情を受け、現時点では極めて困難であろうと捉えている。

参事 関係課と運用面を調整し、令和9年度のできるだけ早い段階で公共施設予約システムの運用を開始できるように、準備を進めていきたい。

令和6年12月に質問をした、予約システムについて、現在どのような進捗状況になっているのか。

総務課長

設置をしている蛇口は基本的に上水道で、飲み水として利用は可能。



どう考える、「地方自治の本旨」

町長／住民自治と団体自治の要素から成る



仁科 英磨 議員

問

赤木新町長は、「町民の声に耳を傾け、議会と建設的な議論を重ねながら、開かれた町政を進める。」と言われている。

適切に発信する。

問

説明会のお知らせなどは、地域を限らず、町民全員に広く連絡してほしいが、どうか。

町長

できる限り広く周知する。

町長

気持ちはずっと言っているような内容で、「住民自治」と「団体自治」の2要素から成るものと認識している。

問

初心忘れずやってほしい。情報はできるだけ早く、全部出す気持ちだということを確認したい。

町長

正確で分かりやすい情報を適時

町長

町長は、町の方向性と目標を明確に示し、それを職員と共有することが最も重要。日常業務では各課の主

体性を尊重しつつ、重要案件については町長として責任を持つて判断することで、組織の機動力と統一性を確保していく。

問

中央公民館と福祉会館の建て替え（複合施設の建設）について、昨年11月に完成したという基本計画ではその位置は、今福祉会館のある辺りがよいということになっている。

総務課長

地盤改良や施設

後ろに書庫棟があり、3年前の資料ではそこも含めた地域が設定されていたが、今回はそこは外され、前に出されている。何故南に出したのか。

総務課長

当時は、大枠を示したものの。その後の検討で、書庫

問

本庁舎も、古くならなければならぬ。延べ床面積は2千800㎡でも、建築面積は広く取り、基礎をきちっとして、将来上へ乗せることもできるようにしておく、そういう議論もしてみた方がよいのでは。

町長

段階を経て進めており、元に戻るようなことはできない。

問

吟味不十分では、基本設計入札の前に構造や事業手法を検討するのは当然で、そう

吟味不十分では、基本設計入札の

元利償還額の増は。A約1・8倍になった。

Q 農業分野での地域おこし協力隊員の招致は。

A 安易には実施できない。

Q 下水道整備は、あと60年から30年に縮めては。

A 多大な費用を要する。

Q 最近の金利上昇による

その他の主な質問

Q 里庄駅の整備事業が、令和12年から22年までと、非常に遅い理由は。

A 他的大型事業との兼ね合いだ。

Q 農業者の収入が、令和12年から22年までと、非常に遅い理由は。

A 他的大型事業との兼ね合いだ。

建設場所など 吟味不十分では

町長／段階を経て進めている

佐藤 耕三議員



どのような町に

町長／住み続けたい、帰ってきたい町に

問

町長の考えるような町なのか、里庄をどのようにしていきたいのか。

町長

町のよさを受け継ぎ、若い世代に住み続けたい、ふるさとに帰ってきたいと思えるまちづくりを進めたい。

問

荒廃地対策についての考えは、難しく考えず、畑や田を作る人が一人でも多くなることが荒廃地対策、農業の充実に繋がると考える。

町長

町民とキャッチボールをしながら、町政に生かしていきたいとの思いとは何か。

問

町民とキャッチボールをしながら、町政に生かしていきたいとの思いとは何か。

町長

町民の声を丁寧を受け止め、行政としての責任や全体のバランスも踏まえながら対話を重ね、よりよい方向性を持つとともに、見だしていくことと考える。

声を上げる

環境を

教委事務局長／環境づくりは大事

問

女子トイレへの生理用品の設置について、今の状況は、生徒、保護者、教職員などからその要望はない。

教委事務局長

生徒からはその要望は実際にある。その声を上げる環境をつくる必要があると思うが、どうか。

問

引き続き学校には生徒の声を聞くことができる環境づくりを呼びかけていきたい。

教委事務局長

要望できる環境づくりは大事だと考える。

引き続き学校には生徒の声を聞くことができる環境づくりを呼びかけていきたい。

真剣に考えてもらいたい

教育長／教育委員会も協力していく

問

女子中学生の制服がスラックスも選択できるようになったが、スラックスを選択した生徒数は、

令和6年12月の導入から現在に至るまでスラックスを選択した生徒はいない。

教委事務局長

主な理由は、見た目が好みではない、自分には似合わないということだった。

問

スラックスを選択しなかった理由は、

主な理由は、見た目が好みではない、自分には似合わないということだった。

教委事務局長

引き続き要望を受け止め、また必要に応じ情報提供していきたい。

教育長

保護者、生徒、教職員が一体となり相談し、それに教育委員会も協力をしていく。

問

デザインについて、生徒の声を聞いたのか。

教委事務局長

職員が生徒指導部会が案を練り、希望を募った。



里庄町はいつから

健康福祉課参事／体制が整えば 9年度からでも



仁科千鶴子 議員

5歳児健診は、発達障害の早期発見、支援を目的に子ども家庭庁より2028年までに全国100%を目指して義務化される。

問 県内の5歳児健診実施状況は。

健康福祉課参事 令和8年度中に笠岡、井原、津山、鏡野4つの自治体が開始予定。

問 里庄町はいつから始めるのか。

健康福祉課参事 義務化が予定されている2028年までの開始に向け検討している。

問 一年でも早くという見通しはあるのか。

健康福祉課参事 体制が整えば9年度からでも実施できればいいと思う。

問 5歳児健診の内容とポイントは。

健康福祉課参事 6項目の健診内容があり、集団生活を営む上で必要な社会性の発達や自己統制などの行動面の発達を評価することが重要となる。就学前の早期発見と支援につなげる。

問 専門性が必要であり、仕事量が増え人材確保が課題になっているのか。

健康福祉課参事 医師や保健師、保育士、心理士等の確保が課題である。

問 どういう体制を考えているのか。

健康福祉課参事 保健師の仕事量は増えるのでは。

問 専門職は必要な時にだけ来てもらう。

健康福祉課参事 5歳児健診特有の特色がある。勉強が必要なので、負担は増える。

問 実施後のフォロー体制は。

健康福祉課参事 町が中心に保健・医療・福祉・教育の各分野の関係者が連携して多角的な視点から支援をし、情報共有することで地域のフォローアップ体制を充実させる。受皿についても、今後検討していく必要があると考える。

公共施設にエアコンを

町長／優先順位を考え検討していく

問 公共施設の利用には、施設ごとの判断基準があるのか。

総務課長 公共施設は行政的以外の貸し付けはできない。地元の産業振興、ボランティア活動、活性化することを目的とした場合、無償で使用を認めているが、塾・レッスンは対象外。

問 指定避難場所の武道館のエアコン設置と雨漏り対策は。

総務課長 武道館は、不足する場合の利用となるので、エアコン設置の予定はない。

教委事務局 局長 営利目的での事業実施は、制限している。また、地域活性化、少ない営利であれば総合的判断をして、使用料を支払って使用できるか検討する。

町長 武道館のエアコン設置は、財源が必要となる。ビッグプロジェクトが控えている中、優先順位を考えている。

問 公共施設の整備として、指定緊急避難場所のつばきの丘運動公園の管理棟の休憩場所にエアコン設置を。要望はないのか。

農林建設課 課長 利用者から設置希望を聞いている。今後研究をしていきたい。

運動公園の管理棟は、熱中症の対策は社会的に強く求められているので、前向きに研究、検討していく。

難波 啓祐議員



人口減少対策は

町長／転入、Uターンを増やしていく

問

町長の考えている人口減少対策とはどのようなものか。

町長

人口減を緩やかにすることを基本に、若い世代の転出を抑え、転入やUターンを増やすことを同時に進めて行く。

問

どうすれば転出を抑えることができるか。

町長

里庄に住みたいと思うまちづくりをグレードアップしていく。

問

転入のグレードアップを考えていることだが、具体的には何なのか。

町長

限られた財源で町政を進めていくことが前提で、現状より工夫をして、住みやすさ、利用しやすさにつなげることが最優先だと考えている。

問

仕事に専念できる環境づくりとは何か。

町長

高梁川流域、井笠圏域で連携した就職説明会のイベントを開催し、地元への就職促進をしている。

幼稚園、中学校への補助は

教委事務局長／令和8年度は

小学校だけ無償化

問

令和8年4月より、小学校の給食費が一人当たり月額5200円が補助されるとのことだが、計算すると、年間1万6800円が不足するようになるのか。

教委事務局長

本年度に引き上げられた、幼稚園、中学校の給食費は、来年度も、値上げ分については国の交付金を活用して補助を行っていく。

問

それは総額でいくらか。

教委事務局長

令和7年度に中学校で1食90円、幼稚園で60円の値上げをしている。令和8年度予算で、中学校594万円、幼稚園45万円を予算計上している。

問

幼稚園、中学校への補助はあるのか。

問

茨城県に境町という町がある。人口約24000人。この町はあらゆるサービスが無料か格安で利用できるという魅力ある町。ふるさと納税が約99億円もあり、これを活用して、工場を造る、環境を変えらるなどをして、物づくりをして販売をしている。

問

住民でないのに特別な思い入れで地域と継続的にかかわる人たちが指す、関係人口というのが増えている。これは、観光やふるさと納税などのリピーターとして、町を推してもらい移住につながる可能性も期待している。

町としてそのような稼げるまちづくりを考えてはどうか。

企画商工課長 町ではカレーを活用したグルメプロモーション事業などの取り組みをやっている。さらに東京の「とっとり・おかやま新橋館」において里庄フェアを開催し、首都圏での情報発信にも取り組んでいる。

また、令和7年度からは、里庄町認定インフル

稼げるまちづくりを

企画商工課長／町の情報発信はしている

は、里庄町認定インフル

がると認識している。

女性管理職の登用は

総務課長／総合的に判断し人事を行う



岡村咲津紀 議員

町は、2023年3月

から5年間で推進期間とする第4次里庄町男女共同参画基本計画、きらり

里庄ウイズプランが策定されている。前加藤町長は、誰もが自分らしく輝ける思いを込めて策定したと挨拶が紹介されている。残り2年となった推進期間は仕上げの期間。目標達成に向けて、どのように取り組んでいくのか数点伺う。

問

の現状は。

各種審議会の女性委員の登用率

企画商工課長 令和7年度は、目標値40%に届いていない。引き続き改善が必要。

問

多くの人の意見を聞くために、女性が意見を言える立場をつくるべき。

企画商工課長 公募や各種団体に積極的に働きかけ研究していく。

町長

積極性のある人などの意見を十分に聞き、外郭団体も声が出せるような組織づくりに努めていきたい。

問

審議会委員に女性を登用するための策は。

企画商工課長 委員を募集する際に広報紙やホームページなどで広く応募を呼びかける。

人材を育成するためのセミナーなどへの参加を促進することも効果的であると考えている。

問

積極的に女性管理職への登用を進めていくべきだが。

総務課長 女性管理職への登用は、本人のキャリアアップに対する意欲、人事評価による成績及び能力などを総合的に判断して人事を行っている。

問

女性農業委員の登用についての策は。

農林建設課長 女性の参画は農業経営の多様化や革新を進めるために欠かせない要素の一つである。引き続き関係機関と連携しながら女性農業委員の登用推進に努める。

問

生活困窮者や高齢者、障害者、ひとり親家庭の親子など、多様で複雑な困難を抱える人々への包括的な支援体制の構築が重要である。

DV被害者相談支援ネットワーク連絡会との具体的な連携と体制は。

健康福祉課長

県内に設置しているDV相談窓口や支援機関、行政、医療・福祉、警察などで構成するDV被害者等相談支援ネットワーク連絡会などの一部を担う形で連携しながら取り組んでいる。

被害者が相談しやすい相談体制の整備と、その周知を行い、被害の潜在化防止にも努めている。



問

学校での教師による性加害や、子どもの人権被害が後を絶たなく発生している。教育委員会の取り組みは。

教委事務局長

子ども性暴力防止法の周知の徹底や、毎月のコンプライアンス研修の実施。子供たちが安全で安心して学習できる学校づくりに努めていく。

田辺 博樹議員



スマート・シュリンク政策イメージは

まち整備課長／コンパクトな暮らしやすい環境を

問

スマート・シュリンク政策で、30年50年先はどの様なものになるのか、イメージしているか否かで随分まちづくりも変わってくるのでは。
AIが急速に発達して、30年先には全自動の人の運転しない電気自動車は何十台も町内を走り回り、

道路さえあれば誰も何人自由なく生活できる時代に必ずなる。そのイメージはあるのか。

まち整備課長 都市機能を集約し、利便性と効率性を高めたコンパクトな暮らしやすい環境の整備を進めていきたい。

仁科芳雄特別賞の創設を

教委事務局長／そのような制度を創設する考えはない

問

将来、科学立国日本に大いに貢献すると思われる人材が、経済的困難のため学業を断念せざるを得ない状況にある場合、厳格に審査して全面的なバックアップが町費でなされ学業を成就できる仁科芳雄特別賞制度を創設してもらいたい。

研究のテーマによればそういうチャンスもある

博士生誕の地にふさわしい人材を、特に経済的困難にある逸材を無にしないためぜひ検討してもらいたい。

教委事務局長 選考基準の明確化など課題が多く、そのような支援制度を創設する考えはない。

議会への説明責任の考えは

町長／議会には丁寧に説明する

問

駅のバリアフリー工事、見積が試算されている。費用対効果の面から一度ここで立ち止まって考えるべきではないか。

まち整備課長 駅工事の具体的スケジュールについては、JRとの協議、財源の確保、事業手法の検討など多岐にわたる。令和8年度には何らかの形で町民、議会に対し整備の方向性を示すべく取り組む。

公共施設の建設については、鉄筋コンクリートの建物は化学反応で必ず劣化する。木造の強さも改めて認識してもらいたい。

総務課長 公共施設の建設は、議会にも全員協議会を通じて情報を提供している。

大型プロジェクトの進行状況の議会への説明が不十分と考えるが。

企業誘致委員会の設置を

企画商工課長／現時点では考えていない

問

企業誘致委員会を設置すべきではないか。町長をトップに議会も参加して情報を集める行動してチャ

企業誘致委員会は、町長をトップに豊かなまちをつくるため全町あげて取り組むべきでは。

町長

里庄駅周辺のバリアフリー化整備は、JRとの協議、財源の確保など、まだ整理できていない状況。

福祉会館、中央公民館の建て替えは、職員の安全のためプレハブを建築することも議論にあつたが、それにも何億のお金がかかる。スピード感を上げて早く複合施設を造ろうという方向性で今、進めている。

今後も節目ごとに議会へ丁寧に説明、町民にも情報を示し理解、合意を得て進めていくことが大切。

企画商工課長

企業誘致は重要な施策と認識している。新たな企業用地の確保は非常に難しい状況であるが、企業動向など情報収集に努めるとともに、機会を逃すことのないよう柔軟かつ迅速に対応する。現時点では企業誘致委員会の設置は考えていない。

里庄町文化協会

絵手紙

心を込めて描く一枚の絵とやさしい言葉をそえるーそれが絵手紙の魅力です。四季折々の花や果物、身近な風景や日常の小さな出来事を題材に、絵と文字で想いを表現する楽しさをお伝えしています。

教室では筆や墨、顔彩の使い方、色のにじませ方や濃淡の出し方など教えてもらいます。対象をよく観察し、美しさや温かさに気づくことができます。

できあがった絵手紙は、お便りとして心を和ませるステキな贈り物になります。

「うまく描こう」ではなく「心を伝えよう」という気持ちで筆を走らせる時間は自分と向き合うひとときです。

あなたも、絵とことばで想いを形にする喜びを、

ぜひ一緒に体験してみませんか?

毎月第一土曜日の13時半から15時まで里庄東公民館で活動しています。興味のある人は見学にいらして下さい。

お待ちしています。郵便局には毎月15日から月末まで展示させてもらっています。産業文化祭、ワコーミュージアム市民ギャラリー作品展などにも参加させてもらっています。



《第124号》

令和8年4月30日 発行

発行/岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集/議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satoshio.lg.jp

●あしがき

勇往邁進 (ゆうおうまいしん)

先日まで寒さの厳しさを感じていましたが、気がつけば体や心までも暖めてくれる春となりました。

皆様の周りの困りごとを一つでも解決できるよう、議会も今後ますます頑張っておりますので、これからも議会広報紙をご愛読ください。

(岡本)



編集委員 委員長: 佐藤耕三 副委員長: 岡本貴之
委員: 仁科千鶴子 委員: 田辺博樹 委員: 難波啓祐

令和8年6月定例会は、5月29日(金)から始まる予定です。